

2024年度青年部会方針案

作成:宮崎 俊雄

〇はじめに

2020年初頭、コロナ禍で多くの当たり前が失われましたが、青年部会は仲間を孤立させない決意で歩み続けました。2023年、アフターコロナを迎え、青年部会では会社の成績向上と風土の変革を図り、数字の重要性に対する意識づけが強化されました。2024年度は、これまでの経験を基に、経営者としての覚悟と熱意、および売上・利益の向上という二つの側面を高い次元で実現する必要があります。理念と数字、両方の追求が、持続可能な成長への鍵であると捉え、今期は、会員同士が経営姿勢を磨き合える、より強固な組織風土の構築を目指します。

2024年度方針

「経営姿勢を磨き合い、襟元を正し合える仲間づくり」

本年度、青年部会は「最高のリーダーになる」というミッションを目指し、会員の経営姿勢の確立に向けた活動を行います。

この目標を達成するためには、会員が自ら主体的に活動できる環境と、リーダーとしての資質を育める環境が整っていることが重要です。会員一人ひとりに焦点を当て、主体性を引き出し、学びを深めることで、それぞれの可能性を広げるような場を提供することを目指します。

また、異なる経営観を持つ多様な経営者との交流は、自身の視野を広げる上で必要不可欠です。このような交流を通じて、経営者としての幅を広げ、視座を高め、さらには大きな進化を遂げるリーダーを育てることを目指します。

さらに、2025年度の2ブロック制を見据えて、組織力のさらなる向上が求められます。そのためには、全員が協力して叡智を結集し、共に課題に取り組み乗り越えることで、次世代のリーダーの創出を目指します。

青年経営者には、本気で学び合い、本音で関わり合える仲間づくりが重要です。我々は互いに切磋琢磨し経営姿勢を磨き合い、襟元を正し合える仲間づくりの場となる青年部会に進化します。

〇増員目標

2024年度期首会員 150名

2024年度増員目標 70名

※目標達成時

2024年度卒業予定者 5名

2025年度期首会員 215名

※目標は、青年部会ビジョンより抜粋		
年度	期首会員目標	会員数実績
2022年度	105名	84名
2023年度	—	119名
2024年度	135名	150名
2025年度	—	
2026年度	180名	

○重点活動目標

①"環境の進化"

青年部会の運営の環境、それぞれの役職環境、会員が参加しやすい環境などを向上させていく事でより会員が学びに集中できる環境作りに繋げていきます。

▶活動目標 行事参加率 平均40%

▶行動計画 @4委員会制での運営

- ・例会、増強、渉外、広報の4つの委員会を持って、青年部会活動を担います。
※各委員会の役割については下記参照

@総務チームの発足

- ・運営の仕組化や管理、規約との整合などを目的として総務チームの立ち上げを行います。
本チームは、部会活動の下支えをしながら底上げを担うチームであり2025年度委員会化を目指します。

@職務分掌の明確化

- ・組織内において職務分掌を明確にし、活動をより効率的にかつ仕組化を行います。
運営者の工程を削減する事で、目的に合わせた行事運営をより深めます。

@年間行事の明確化

- ・会員の行事参加をより促すために、より行事の告知や広報に力を入れることで行事参加率の向上を目指します。

@事業責任者制の導入

- ・各行事の責任者運営を取り入れ、リーダーシップの経験と学びの機会を作ります。
また事前準備と総括に力を入れて継続的な組織力の向上も狙います。

②"交流の進化"

青年部会活動において、会員が互いに多様な経営観に触れる機会を積極的に作ると共に、会員同士が意見を交わし合う時間と質を追求した活動を行い、会員の経営姿勢の確立に寄与します。

▶活動目標 渉外例会 2回 ウェルカム例会 1回 忘年例会 1回 褒章例会 1回
女全交・青全交・近畿圏合同例会 参加 50名
オリエンテーション 年間 11回 青年部会研修会 年間 2回

▶行動計画 @様々な行事から多様な交流を促す

- ・渉外例会 他府県報告者を招いておこなう例会
- ・ウェルカム例会 新会員またはゲスト、学生などに目を向ける例会
- ・忘年例会 一年を締めくくりの例会
- ・褒章例会 年度締めくくりの例会

@全国に視点を向けた交流を促す

- ・女性経営者全国交流会in大阪(女全交) 全国の女性経営者が中心となり集う例会 ※男性も可
- ・青年経営者全国交流会in宮崎(青全交) 全国の青年経営者が中心となり集う例会 ※年齢不問
- ・近畿圏合同例会in兵庫(近畿圏) 近畿圏が一つとなって主催する例会

@オリエンテーションの定例開催

- ・新会員などを対象にした、同友会や青年部会などの活動の説明などを行う機会を設けより活動へのそれぞれの理解と、積極的な参加を促していきます。

@青年部会研修の開催

- ・全会員を対象にした、活動をより深掘りした研修を設けて、リーダーの更なる成長と次世代リーダーの育成を目指します。

③”組織の進化”

青年部会の会員一人ひとりが学ぶ機会や可能性をより広げていくために、様々な組織の進化を促します。
また次年度の2ブロック制も視野に入れ、さらなる役員の育成と成長にも繋げていきます。

▶行動計画

@右腕左腕「三人よれば文殊の知恵」

- 全てのリーダーに、右腕左腕の2名を必ず設けるよう組織し、常にリーダーとの想いの共有を大事にしながら議論しあえるチームを作ります。チーム外に伝える際には、右腕左腕が報告するなど、より共有を促す仕組みも取り入れていきます。

@全ての会員が委員会に所属する

- 会員全員がどこかの委員会に所属し、活動への当事者意識を促します。
そして、各委員会においても運営のみに関わらず、経営に関わる交流の場であるものとします。

@顔の見える組織

- 会員が互いに顔と名前を認識するだけでなく、仕事内容や経営課題など、相互認知及び相互理解の進む組織へと取り組んでいきます。そのために、SNSを利用して新しい会員などの会内外への認知が広がる活動に取り組みます。

@横串が刺さる組織

- 役割別に縦割りの委員会制度を敷く中で、互いに切磋琢磨できる横串の取り組みを積極的に取り入れていく事で、委員会を超えた連携とより大きな学びと成果を掴める組織へと進化します。
各委員会にも横串を意識した組織の役員配置を行っていきます。

@OBとの連携をさらに模索

- 青年部会と支部との連携をさらに強化するために、OBを交えた今後の支部交流のあり方などについて、2023年度に引き続き模索していく活動を進めます。
青年部会活動で培った絆と考え方をより大阪に広く広げていける事を目指します。
-

● 職務分掌

▶ 部会長(1名)

- ・中同協青年部連絡会の出席
- ・近畿圏各青年部の総会への出席
- ・近畿圏サミットへの出席
- ・大阪府中小企業家同友会理事会への出席
- ・役員会への出席
- ・幹事会への出席

▶ 幹事長

- ・幹事会の招集
- ・近畿圏各青年部の総会への出席
- ・近畿圏サミットへの出席
- ・役員会への出席
- ・幹事会への出席

▶ 特命幹事(若干名)

- ・特命事項の運営及びその実行
- ・幹事会への出席

▶ 役員

- ・青年部会運営の統括
- ・総会の招集
- ・青年部会総会の出席
- ・青年部会研修の出席
- ・近畿圏合同例会への出席
- ・新会員向けオリエンテーション

▶ 副部会長(若干名)

- ・近畿圏各青年部の総会への出席
- ・大阪府中小企業家同友会組織本部への出席
- ・近畿圏サミットへの出席
- ・役員会への出席
- ・幹事会への出席

▶ 副幹事長(若干名)

- ・役員会への出席
- ・幹事会への出席

◇ 研修担当

- ・青年部会研修の企画設営

◇ OB連携担当

- ・上記会と現役との懸け橋
- ・上記会との交流企画設営

▶ 会計

- ・青年部会予算・会計に関わる業務
- ・幹事会への出席

▶ 幹事

- ・総会方針の具体化及びその実行
- ・運営規定の制定及び改廃に関する上程
- ・青年部会総会の出席
- ・青年部会研修の出席
- ・近畿圏合同例会への出席

▶例会委員会

- ・各例会の担当・設営
- ・例会後の懇親会の担当
- ・和歌山との合同例会での担当
- ・新規入会者の獲得

▶増強委員会

- ・各会員の交流担当
- ・増強した後の新会員フォローリーダー
- ・新規入会者の獲得

▶渉外委員会

- ・青全交の担当委員会
- ・近畿圏合同例会の担当
- ・近畿圏サミットへの出席
- ・和歌山との合同例会での担当
- ・新規入会者の獲得

▶広報委員会

- ・月刊誌の担当
- ・行事での写真撮影
- ・青年部会の魅力発信
- ・褒賞例会の担当
- ・新規入会者の獲得

▶総務チーム(内、若干名が特命幹事)

- ・役員研修の企画設営
- ・青年部会予算・会計に関わる業務
- ・青年部会研修の企画設営
- ・青年部会総会の運営

▶各委員長(1名)

- ・担当委員会の責任者
- ・委員会の開催と、メンバーへの参加呼びかけ・調整
- ・幹事会への出席
- ・担当以外の委員会との連絡・調整

▶サブ委員長(各若干名)

- ・委員長のサポート
 - ・幹事会への出席(各幹事会の際に1名ずつ)
 - ・担当の設営
-

●委員会・チームについて

◆例会委員会

例会は人の活かし方や、数字の理解等、経営のヒントを得られる場です。
勉強例会・渉外例会の運営も実施し、青年部会に学びを届けます。

◆増強委員会

会員を増員し、組織を大きくする事で、青年部会に新しい価値観を取り入れます。
また、会員間の繋がりを深め、学びの基盤となる組織の強化を測ります。

◆渉外委員会

近畿各府県との連携をはじめ、全国や支部と積極的に交流することで、より多くの人と関わる機会を増やし、大阪青年部会内外を繋ぐ架け橋となる活動を行います。

◆広報委員会

広報委員会は大阪青年部会の魅力、会員の魅力を内外に発信するだけでなく、青年部会以外の情報も会員に伝える事で、理解浸透と意義を広める取り組みを行います。

◆総務チーム

大阪青年部会になかった組織を創設します。青年部会の継続的な発展を目指し、標準化と効率化などの活動を行うことにより、組織としての仕組化を行います。

◆女性経営者全国交流会担当チーム

大阪主催の全国行事である、女性経営者全国交流会の運営を担当。
全国から集まる学びの場を盛り上げます。

◆全大阪経営研究集会担当チーム

all大阪でつくりあげる、全大阪経営研究集会の運営を担当。
本会のブロックや支部の担当と一緒に大阪全体を盛り上げます。
